

# 平成 29 年度総合計画審議会 議事録（要点）

- 日 時 平成 29 年 7 月 6 日（木）19：00～21：05
- 場 所 御嵩町役場本庁舎 2 階 第 1 委員会室
- 出席者 審議会委員（敬称略、50 音順）10 名
  - 岡本隆子（御嵩町議会議員）、鍵谷幸男（御嵩町行政改革推進委員会）
  - 可兒完治（御嵩町農業委員会）、須田俊幸（御嵩町民生委員児童委員協議会）
  - 田中久雄（御嵩町観光協会）、谷口鈴男（御嵩町議会議員）
  - 遠山茂美（御嵩町金融協会）、平井繁幸（御嵩町商工会）
  - 水野耕治（みたけ地域活性化委員会）、渡邊剛（御嵩町教育委員会）
- 事務局 5 名
  - 伊左次一郎（総務部長）、小木曾昌文（企画課長）、日比野克彦（企画調整係長）
  - 丹羽英仁（企画調整係員）、安藤裕之（企画調整係員）
- ※都合により欠席となった委員（敬称略、50 音順） 2 名
  - 長嶺智彦（御嵩町子ども会育成協議会）、益川浩一（岐阜大学地域協学センター）

## ■要点録

### ○会長・副会長選出

- ・互選による委員からの案なし
- ・事務局案により会長に益川浩一委員、副会長に平井繁幸委員を選出し、拍手を以て了承された。

### ○【議事】第五次総合計画に係る平成 28 年度実績について

質問・意見等	事務局回答
・国道 2 1 号線 B P について朝晩の交通渋滞が常態化しており、旧国道 R 2 1 号線を利用する車が増えている。4 車線化を進めてほしい。	・既に国において 4 車線化に向けた用地確保は終わっており、進めるべきとされている。亜炭鉱廃坑の対策によって進む話である。
・平成 2 3 年の自治法改正により根拠を無くしている。重大計画である以上、総合計画審議会として明確な根拠を立てておかないと総合計画の位置付けが不安定になっている。検討してほしい。	—
・学校教育に対する満足度が 14.50%と、想像以上に低かったことに驚いている。	—
・農林課による里山、生態系の保全に関する項目について、森林経営信託など頑張りが見られていると思うが、C 評価の項目が	・森林経営信託については評価はよいと思われるが、CO2 削減率からしてもまだまだだとして評価としている。水土里隊の隊員確

<p>あるのはどう考えるか。</p>	<p>保数は2人ほど増えたが、これもまだまだだと過大評価をしていけないということからこの評価としていることをご理解いただきたい。</p>
<p>・移住者受け入れの促進について、移住者に御嵩町は人気があるようだが、移住者が自治会に入ってもらうことを促すことが町の役割と考える。以前、ある地域でカフェをやりたいという方がいたが、その際地域の方々はそれを知らず、もっと早く聞いていれば「地域としてもっと協力できたのでは」とも聞いた。もっと地域とのよい関係ができていくという良い事例をアピールしてほしい。</p>	<p>・移住定住を進めており、空き家活用の窓口を設置しているが、自治会への繋ぎまでは現在のところ行えていない。自治会との繋がりを持っていただけるように伝えていきたい。</p>
<p>・自治会に加入しない方が増えているとあり、自治会の役のなり手がおらず、自治会が成立しないという声も聞こえる。町としても対応は何かされているか。</p>	<p>・自治会担当は住民環境課ではあるが、保険長寿課や福祉課等とも連携をとりながら進めていきたい。</p>
<p>・農地の集積について、集積しても成手がいない。慈善事業ではないため、利益を生んで生活していくためのものにしていかなければならない。</p>	<p>—</p>
<p>・農地を転用しソーラー発電に使われる方もみえる。20年～30年と経てば維持管理や整備もできず、放置されるのではないかと心配している。農業委員会においても規制できる権限がなく、将来にこの問題を残したくない。</p>	<p>・太陽光発電が災害の元になってはいけない。町としてはクリーンエネルギーを推進する立場でもあり、周辺環境に配慮したものでなければならぬとしている。国も制度を少しずつ変えてきており、自治体のルールに沿ってしか設置できないようになってきたり、町で適正管理の条例も制定されているところである。</p>
<p>・景観について、御嶽宿を観光地としていくのであれば、電柱の地下埋没など、無機質なものを取り除いた景観づくりをしていかなければならない。景観を規制するような条例等を作っていくとよいと考える。</p>	<p>・御嶽宿景観指針を作り、駅周辺の私有物件について補助金を出して景観を整えていきたいと思いますとして進めた経緯がある。ただ、個人の所有物のため個人資産や資金も必要となる。現在、古民家を活用していきたいとして観光基本計画をもとに進めているところである。</p>

<p>・観光基本計画が発表された。先日町職員が休みを取って中山道をPRしてくれた。たまたま何事もなく終わったが、何かあったらどこが責任をとるのか心配であった。町職員は実費で行かれたため、金銭面も含め、協力体制として何かしてあげられることはなかっただろうか。</p> <p>・クラウドファンディングを使って行きたいということを考えていたようであり、よい企画であると感じていた。非常に難しい問題ではあると思うが、若い方がもっと挑戦できるようにしてあげてほしい。</p>	<p>・回答は持ち合わせていないが、今後考えていきたいと思う。</p>
<p>・御嵩町のまずもって危惧している事としては、若い方の人口流出が課題であると思っている。親が一般のサラリーマン家庭は特に御嵩町にとどまってくれない傾向がある。町の保有する土地を提供して工業団地や企業を誘致し、若い方の受け入れ態勢を整えることが必要と思われる。</p>	<p>—</p>
<p>・平成28年から計画がスタートしてこの時期にこのような機会を設ける意味は。総合計画を作った我々に対して実績を知らせるだけのものなのか教えてほしい。</p>	<p>・基本計画が作りっぱなしではいけないということから委員の皆様に対して総合計画の進捗管理の報告は必要であると考え、今回開かせていただいた。最も上にある基本構想を変える目的ではなく、PDCAサイクルを回す中で次年度に軌道修正が必要であれば変えていきたいという思いの中でご意見をいただいているものである。大きく構想を変えたいということではない。</p>